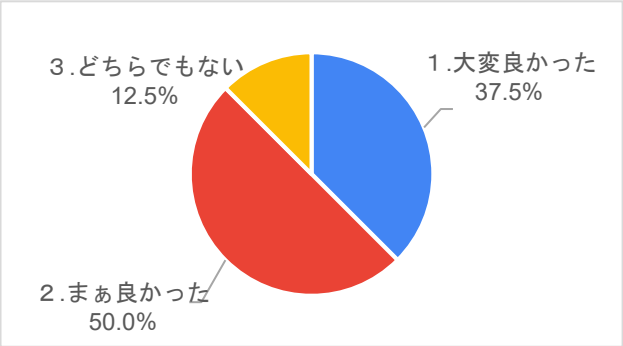
■千葉経済大学 まずは飛び込め！企業の魅力を考える会/インターンシップ受入アンケート

参加企業数：8社

実施日：5月12日（授業開始）～11月13日（成果報告会）

Q1.本企画に参加した感想をお聞かせください。

1.大変良かった	3	37.5%
2.まぁ良かった	4	50.0%
3.どちらでもない	1	12.5%
4.あまり良くなかった	0	0.0%
5.全く良くなかった	0	0.0%
	8	



その理由

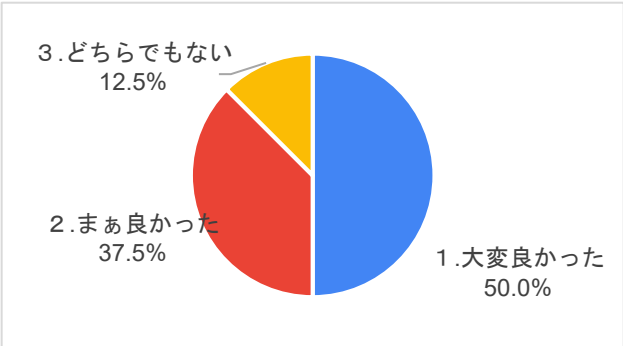
1
- 採用、広報活動として参加させていただきました。
- 動画作成を通じて自社の魅力を人に伝える方法を真剣に考える機会を得ました。それに伴い様々な考え方や手法、表現方法を学ぶ機会を得ました。インターン生受け入れにより社内には刺激と感動のようなものが生まれました。社員のスキルアップや自立心を刺激する一助となりました。
- パワポを使用した動画作成だったので、特に問題なくできました

2
- 非常に意欲の高い学生さんが来てくれたので、やりやすかったです
- リクルーター養成ゼミで学習したことを実行に移せたことです。動画作成:文系学生様にとって、IT業界は理系学生様が多い、どこか遠い存在を持たれているイメージが強い中、文系学生様にも身近である業界をアピールできたから。弊社インターンシップに参加した貴校学生様からのコメントでございます。
  インターンシップ受け入れ学生様の様子:今回、キャリアセンター様からも事前に受け入れ学生様の様子は伺っており、「主体性」を身に付けたい学生様が多いことを伺っておりました。受け入れ期間中は、「主体性」を意識するワークに重点をおき、学生様自ら考え行動する姿勢にしました。インターンシップの最終発表では、今後の学生生活で、勇気を持って発言することを意識すると学生様自身から思っていただけました。
- 大学生の考え方、接し方についていろいろ勉強になった
- 企画をお受けした時は、時期的に社内の繁忙さやコロナの影響もあり、準備・受け入れ共に厳しさもありましたが、学生さんの経験値としてお役に立てればという思いと、少しでも介護の仕事に興味を持ってくれたら嬉しいなぁという下心もありました。実習中は緊張もあったと思いますが、総合総合的に消極的な印象だったので、プログラムに工夫が必要だと感じました。（盛りだくさん過ぎたかもしれません）
- インターンシップの内容を部下・若手社員に考えさせ、約半日分を実施してもらいました。正直内容は不十分だったため、発表会で印象に残る項目として発表されなかったことは非常に残念です。

3
- 集客方法：動画で学生に企業の魅力を伝えるといったことを初めて経験できたため、とても良い経験になりました。
  条件設定：インターンシップ生の受け入れについては、そもそもの開催日程に合う学生が少なく感じました。現場と学生の温度差を感じ、意欲の低さを感じる声がありました。

Q2.参加にあたっての説明、運営に関してはいかがでしたか？

1.大変良かった	4	50.0%
2.まぁ良かった	3	37.5%
3.どちらでもない	1	12.5%
4.あまり良くなかった	0	0.0%
5.全く良くなかった	0	0.0%
	8	



その理由

1
- 非常に丁寧に準備してくださいました。インターンは当社にとっても学生の声を直に聴くチャンスでもあります。すばらしい機会をご提供くださり感謝しております。

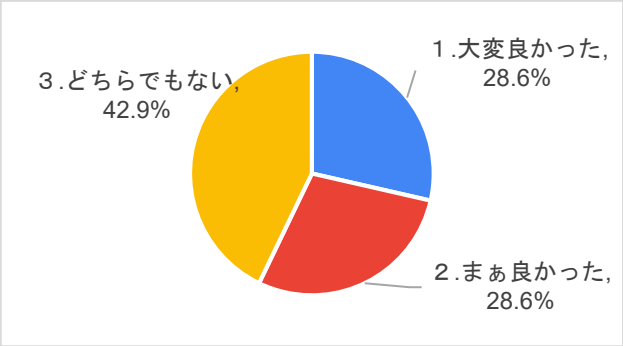
- 十分満足しています。主にはメールでの連絡でのやりとりでしたが、関わる機関や人が複数にまたがったり、内容が濃くなる分、理解しておかなくてはならないことや把握しておくべきスケジュールなども多岐にわたりましたので、質疑応答などができるZOOMで事前の説明会などがあると他企業さんからの質問やその回答なども共有できるので良いのではいかと思いました。
- 無事に学生さんとも会えて特に問題なかったからです

2
- とてもスムーズに運営していただけたと思います。ありがとうございます。
- これからもっと良くなると思うので。
- 参加予定者5名でしたが、実際は3名。ちょっと少なかったです。

3
- ある程度学校側が主導するのは仕方ないが、学生からいろいろなアクションがほしかった。例えばインターンシップの時間に間に合わない、欠席するなどの連絡は学校側ではなく本人にさせるべきです。おそらく本番であれば必ず学生からしていると思います。また前日とかに明日お世話になりますといった電話１本かけるということも、練習の意味も含めて自主的に学生さんがするべきだと思います。また、必ずしもご自身が入社を希望するものでなければ女性の生徒さんも当社でのインターンシップを体験してほしかった。

Q3.学生の報告会は、いかがでしたか？　　11/14（日）同大学学園祭にて実施：欠席1社／自社のみZoom配信視聴1社

1.大変良かった	2	28.6%
2.まぁ良かった	2	28.6%
3.どちらでもない	3	42.9%
4.あまり良くなかった	0	0.0%
5.全く良くなかった	0	0.0%
	7	



その理由

1
- 他社のインターンの内容を間接的に知ることが出来ました。特に緊急事態宣言の中、WEBでのインターン開催をした企業様も複数あり、当社としてもとても参考になりました。
  学生達がWEBと対面に対してどのような感想を持っているのか等、今後の運営に生かせればと思います。
- 仕事柄かもしれませんが、学生の皆さんと関わり、共有した体験をあのような場で発表してもらえることに感動する場面もありました。上手、下手ということではなく、就職という彼らにとって大切なシーンに関われることに単純に幸せを感じました。自社を学生たちがどのように感じるのか、そうそう知れる機会はないので、本当に貴重な機会です。

2
- インターンシップ前と後の感想に変化があったことです。また、弊社受け入れ学生様がインターンシップを通して何を感じ、どう活かしていきたいかを発表会で聞いたときに、私が今回の目的としていた「コミュニケーション」「ノンバーバルコミュニケーション」が大切であることと発表していただけたことで、今回の目標は、達成できたように感じております。
- 少ない資料から会社の特徴や強みを発表していただき、第３者目線で感じ取ることが出来た。
- 大変申し訳ないのですが、報告会に出席できなかったため

3
- チームによって評価がわかれるため３にしました。
  既に千葉経済大学下地先生にはメールでお伝えしていますが、発表前に資料や説明部分のチェックが必要だと感じます。
  一例ですが、ＰＰＴ資料で「新雪運輸」さんの表記が「新設運輸」となっていました。
- 本音とは感じなかったです。本気にさせられなかった私共の力不足を感じました。

Q4.来年度同様の企画があった場合、参加したいですか？

はい	7	87.5%
いいえ	1	12.5%
	8	

その理由

- 福祉用具の専門商社というあまり認知されていない業界を知ってもらうチャンスでありますし、今後の将来を担っていく学生たちに少しでも貢献出来ればと思っています。

- 動画は技術的な問題を克服するのに時間を要し仕事との両立に苦戦はしましたが、この企画にはそれを乗り越えるだけの魅力がありました。インターンシップ生の受け入れ方については、当社で考え得るベストを考え実施しましたが、他社さんがどのようなことをやられているのかも知りたいと思いました。またインターンシップを通じて学生さんにどういう経験をしてほしいのか、どういう機会になれば最高だと思っていらっしゃるのかなど、共有できる場があれば良いなと思いました。普通はありえないことですが、このプロジェクトの場だけでは受け入れ先企業と大学側と内容を相談し、企業・大学という枠組みを外し一丸となって学生さんの学びに寄与できるようなインターン内容を作り上げられたらと思いました。
- 一社会人の先輩として、社会人の楽しさや厳しさを後世に伝えることは社会貢献の一貫と考えております。
- 今回はコロナ禍での開催でしたが、日常を取り戻した時には、また違った学生さんの考え方などが効けると思います。
- 私たちの学びにもなっているので。ただ、時期によっては現場の受け入れはかなり難しいかもしれません。
- いくつかの大学合同でやれた方が良いと感じます。お友達同士の参加では、緊張感が下がります。
- 動画による参加は場所の移動もなくできたので、やりやすかったからです

- 今の運営条件のままだと厳しいです。
  当社の既存インターンシップ(1dayコース）に受け入れは可能なのですが、
  文系学生を２日間受け入れるインターンが無いため、個別に2日間コースをつくることは、運用上難しいためです。

Q5.教育機関連携企画に関するご意見ご要望などご記入ください。

- ただただ感謝です。当社はそもそも教育というものに興味や関心が高く、学生との関わりはモチベーションリソースそのものです。教育機関との連携は当社にとって採用活動としてだけでなく教育サービス事業そのものの発展に沢山のヒントや気づきが頂ける貴重な機会だと実感しています。
- 今回は、このような機会をいただけたことにまずはお礼を申し上げます。千葉経済大学様、千葉商工会会議所連合会様ありがとうございます。もう少し具体的なお話ができたのではないか、もっと良い伝え方があったのではないかと私もまだまだ至らない点があるなと今回のインターンシップを通して感じたところがございます。
  この企画を通して、学生様、私も共に成長できればと考えております。
- 近県にもない斬新な取り組みがとても素晴らしいと思います。業界研究などでの出張授業などができたら弊社としても御協力したいと思います。
- 今回の企画に参加して、学生さんの就労イメージは、思った以上に「純粋」で「無知」なんだと気づかされました。私たちの会社にも学生さんと同年代の子供をもつ職員がいますが、親の職業柄なのが医療や福祉の専門資格を取得する大学に通っており、卒業後はその資格を活かした仕事に就くことを高校生までに決めているケースが多いです。大学で学びながら将来の仕事を見つけるためには、様々な選択肢を見せて、体験させる機会を多く与えることが必要だと思いますので、この企画に協力する企業がもっと増えるといいですね。
- いつも出会いの場をご提供いただき、感謝しております。
- 既存のコースで受け入れを可能にしていただけますと幸いです。何卒、よろしくお願いします。